



福県医発第61号（地）
平成22年 4月 9日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 横 倉 義 武
（ 公 印 省 略 ）

平成22年度「看護の日」及び「看護週間」について

標記の件につきまして、今年度も厚生労働省及び日本看護協会の主催により、「看護の日」及び「看護週間」が設けられ、別紙実施要領に基づき諸事業が実施されることになり、日本医師会も本事業を後援する旨、別紙のとおり通知がありましたのでご連絡いたします。

本事業は、国民の看護に対する関心と理解を深めるとともに、看護の明るいイメージ作りにより看護職員等の就業を促進し、活気ある長寿社会づくりに寄与することを目的としております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、会員各位への周知方よろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

広報担当理事 廣瀬真恵
会長 蒲池 壽

日医発第 1150 号(地 I 229)

平成 22 年 3 月 31 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会長

唐 澤 祥 人

平成 22 年度「看護の日」及び「看護週間」について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、厚生労働省及び日本看護協会では、来年度も「看護の日」及び「看護週間」を設け、別紙実施要領に基づき諸事業を実施することになり、本会に対してもその後援方依頼がありました。

本事業は、国民の看護に対する関心と理解を深めるとともに、看護の明るいイメージ作りにより看護職員等の就業を促進し、活気ある長寿社会づくりに寄与することを目的とするものであり、本会は来年度もこの事業を後援することにいたしました。

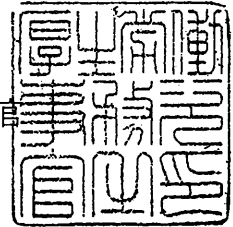
つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただくとともに、貴会管下郡市区医師会等への周知方につき、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

厚生労働省発医政0113第1号

平成 22 年 1 月 13 日

社団法人日本医師会長 殿

厚生労働事務次官



平成22年度「看護の日」及び「看護週間」の後援について（依頼）

看護行政の推進につきましては、かねてより種々御配慮を頂いているところでありますが、国民の看護に関する理解と関心を高めるために、来年度も別紙実施要領に基づき、「看護の日」及び「看護週間」を実施することといたしました。

つきましては、貴会の後援を賜りたくよろしくお願い致します。

また、御承諾の上は、貴会関係諸機関、団体等においても協力が得られますよう格段の御配慮をお願い申し上げます。

平成22年度 「看護の日」及び「看護週間」実施要領

1. 目 的

本事業は、「看護の心」の普及啓発を通じて、国民一人ひとりの人に対する看護についての関心を高め、理解を深めるとともに、看護の明るいイメージづくりを図ることにより看護職員等の就業を促進し、活気ある長寿社会づくりに寄与することを目的とする。

2. メインテーマ

「5月12日は看護の日 看護の心をみんなの心に」

3. 実施時期

- (1) 「看護の日」：平成22年5月12日（水）
- (2) 「看護週間」：平成22年5月9日（日）～15日（土）

4. 主 催

厚生労働省及び社団法人日本看護協会

5. 後 援

文部科学省、社団法人日本医師会、社団法人日本歯科医師会、社団法人日本薬剤師会及び社会福祉法人全国社会福祉協議会

6. 協 賛

社団法人日本病院会、社団法人日本医療法人協会、社団法人日本精神科病院協会、社団法人日本助産師会、社団法人全日本病院協会、社団法人全国自治体病院協議会、社団法人日本精神科看護技術協会及び財団法人日本訪問看護振興財団等

7. 内 容

「看護の日」及び「看護週間」における具体的な実施事業については、各都道府県において関係各機関との協議の上定めるものとするが、その実施に当たっては次の内容を盛り込むこととする。

(1) 各種催し物等の開催

「看護の日」及び「看護週間」の趣旨について国民に周知を図るとともに、国民一人ひとりに対する看護についての関心を高め、理解を深めるため、看護フォーラムを開催するほか、各都道府県において記念式典、講演会等を開催すること。

看護フォーラム 日時：平成22年5月9日（日）

場所：よみうりホール（千代田区有楽町）

内容：公開シンポジウム等

(2) 看護に親しむ活動の推進

中学生、高校生を含め広く社会全般から参加者を募集し、病院、老人ホーム等での一日看護体験やボランティア活動を行い、高齢者や病弱者に対する看護についての関心を高め、理解を深めること。また、国民の看護に親しむ活動が一層推進されるよう、一日看護体験等の活動のまとめについて積極的に発表の機会を設けること。

(3) ポスター、チラシ、新聞、テレビ、ラジオ等による広報活動

ポスターの掲示やチラシの配布とともに、新聞、雑誌、広報誌、テレビ、ラジオ等によって「看護の日」及び「看護週間」の趣旨や関連行事等の実施についての広報活動を行うこと。

(4) 「看護の日」のテーマソングの普及

テーマソングを関連の諸事業において愛唱することにより、「看護の日」及び「看護週間」について広く国民に周知を図ること。

(5) 看護の基礎的知識及び技術の普及

看護や介護に関する認識を深めるため、新聞、テレビ等による紹介のほか、座談会の開催や病院などの施設の見学などを実施すること。

また、健康相談事業や家庭看護教室の開催、パンフレットの配布、各種展示コーナーの設置、訪問看護の紹介等を行うこと。

感

KAN

動

DO!

看

KAN

護

GO!

折れそうな心まで支えてみせる。

患者の微妙な心の動きまで見守り、ケアできてこそ看護職と呼ばれます。
血圧を測る、聴診器で聴くという行為はもちろんですが、看護本来の姿である
手と目で看るという行為のなかで、なにげない会話のなかで、
実はあらゆる患者の情報をつかみとっているのです。
そんな看護職の“命を支える技術”こそが、感動を生む看護の原点となっています。

www.nurse.or.jp



看護の心をみんなの心に

5月12日は
看護の日

20周年

主催：厚生労働省／日本看護協会 後援：文部科学省／日本医師会／日本歯科医師会／日本薬剤師会／全国社会福祉協議会
協賛：日本病院会／日本医療法人協会／日本精神科病院協会／全日本病院協会／全国自治体病院協議会／日本助産師会／日本精神科看護技術協会／日本訪問看護振興財団／
テルモ（株）／東洋羽毛工業（株）／パラマウントベッド（株）／（株）ジェイティービー／（株）ソシエ・ワールド／トップツアー（株）／ナガイレーベン（株）／ワタキューセイモア（株）

撮影協力：北里大学病院

2010年 「看護の日・看護週間」中央行事

看護フォーラム

看護の心をみんなの心に

20周年キーメッセージ:「感動看護」をみんなで広げよう!

【日時】2010年5月9日(日) 14:00~16:30

【会場】よみうりホール

東京都千代田区有楽町1丁目11番1号読売会館7階
TEL:03-3231-0551



主催:厚生労働省/日本看護協会 共催:読売新聞社

【参加申込方法】**無料**

どなたでも参加できます。(応募が多数の場合は抽選とさせていただきます)
氏名、郵便番号、住所、電話番号、職業を明記の上、4月14日(水)までにメール・FAXまたはハガキでお申込みください。

※詳しくは、お電話で下記事務局までお問合せください。

※申込みについては、1名様につき1件をお申込みください。

※電話での参加申込みは受け付けておりませんので、予めご了承ください。

※当選者の発表は、招待状の発送をもって代えさせていただきます。

※いただいた個人情報は、(社)日本看護協会が、応募資格の確認、招待状発送のほか、個人を特定しない統計情報の形で利用させていただきます。同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。(法令などにより開示を求められた場合を除く)

【申込み・問合せ先】

〒135-8691 郵便事業株式会社 深川支店 私書箱107号
看護フォーラム事務局 宛
TEL:03-6221-0314 FAX:03-5166-0236
E-mail:kango2010@e-mail.jp

Program プログラム

14:00 オープニング 「看護の日・看護週間」事業20周年の振り返り映像

開 会 式 主催者あいさつ・来賓紹介

14:15 シンポジウム テーマ「暮らしと看護を考えよう!」
医療現場から日々の生活の場まで
入院から退院、在宅での療養生活への流れを
分かりやすく伝えます



【シンポジスト】

中村 獅童氏
(歌舞伎役者)

前野 一雄氏
(読売新聞東京本社 編集委員)

佐々木 静枝氏
(世田谷区社会福祉事業団 訪問サービス課長)

宇都宮 宏子氏
(京都大学医学部附属病院地域ネットワーク医療部 退院調整看護師)

16:00 フィナーレ 「感動看護エピソード」優秀作品発表



ビデオメッセージ

【特別審査員】

内館 牧子氏
(脚本家)

16:30 閉 会

同時開催

13:00~14:00 16:30~17:30
看護の道へのガイダンス(協力:東京都看護協会)

FAXでお申込みの場合

03-5166-0236

※4月14日までに
お送りください。

看護フォーラム 参加申込書			
氏 名	(フリガナ)	電話番号	職 業
住 所	〒- - ←郵便番号は必須です。		